



西東京市立栄小学校

令和7年9月1日(月)

西東京市栄町 2-10-9

TEL 042(423)0276

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-sakae/index.htm>

## 2学期が始まりました

校長 佐藤 千晴

約40日間の夏季休業を終えて、今日から2学期が始まりました。この夏は、例年にない猛暑・酷暑の日々でした。連日、最高気温38度、39度の予報となり、外出をためらうことも多くありました。この暑さの中、栄小の子供たちはどうしているのか、元気に過ごしているのか気になっていました。今日の始業式では、子供たちの元気な姿や笑顔を見ることができ、心から嬉しく思いました。夏休み中、しんと静まりかえっていた校舎、校庭に子供たちの元気な明るい声が戻ってきました。教室をまわってみると、休み中の出来ごとを報告したり、頑張って取り組んだ課題を提出したりする姿も見られ、この夏休みを充実して過ごしていた様子が伝わってきました。

今日から2学期です。2学期は、1年の中で一番長い学期です。6年生は、10月に移動教室があります。また、各学年では、社会科見学等の校外学習も予定しています。11月には音楽会を行います。日々の学習とともに体験的な学習も進めてまいります。

今年度は、「学び」に力を入れた学校経営を進めています。「授業で子供を育てる」が今年度の栄小学校の重点です。高学年では教科担任制を始めました。初年度のため、スタート時は試行錯誤でしたが、同じ授業を学年の全学級で行うことで授業準備に掛ける時間が多く取れる、やってみて次の学級で改善した授業を行えるなど、多くの利点があります。今、学校教育の現場に課せられている『働き方改革』にもつながります。授業改善、授業の工夫はこのような中、生み出されます。私が受講した研修の中で「1時間、1感動、1理解」という言葉を講師の大学教授の先生からお聞きしました。1時間の中で「へー、すごい」「そうなんだ」という感動。「なるほど」「わかった」「できた」という理解。常にこれを大切に大学の講義や授業に臨まれているとのことでした。そして、そのために先生ご自身が並々ならぬ努力をされていることも分かりました。学生が1時間の授業の中で「感動」「理解」をするために努力する。それこそが、教師の姿です。学ぶ側が大学生だから、高校生だからではなく、どの学校でも同じです。今こそ、よりよい「授業」のために、みんなが分かる「授業」のために、私たち教員は力を注いでいかなければなりません。子供たち一人一人が、自分の力を発揮し、生き生きと学校生活を送ることができるよう教職員一同、2学期も一層努力してまいります。ご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

**TEPRO**  
Supporter Bank  
ティープロ・サポーターバンク

詳細・ご登録



<https://www.tepro.or.jp/>

**学校現場で  
あなたの力  
生かしませんか?**

たくさんのサポーターが活躍しています!

- ・教職員の事務支援
- ・学習支援・部活動支援
- ・特別支援教育の支援

など  
活動分野は  
さまざま!

(公財)東京都教育支援機構  
TEPRO サポーターバンク  
(0120) 389-055 (平日9時~17時)

↑東京都教育支援機構からのお知らせです

## 9月の生活目標:チャイムの合図で行動しよう

中休みや昼休み終了5分前の予鈴が鳴ったら、速やかに教室へ戻れるように指導していきま  
す。時間を意識して、気持ちよく授業を始めるためにチャイムの合図で行動できるようにご家庭  
でもお話しいただければ幸いです。